

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	3	福祉サービスを利用しやすい体制の整備

事業名	自立支援事業	担当課名	生活福祉課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

生活保護受給者の経済的、健康的、精神的自立を支援することを目的とする。

(事業概要等)

- 生活保護受給者の自立を支援するため、専門的就労支援相談員を配置し、被保護者へのきめ細やかな就労支援を行う。
- 医療相談員、介護相談員を配置し、被保護者の健康管理や介護に関して指導助言を行う。
- 社会保険労務士に業務を委託することにより、年金加入期間を調査し、遡及年金の受給促進を図る。
- 就労に向けた課題を抱える被保護者に対し、精神保健福祉士の資格を持つ自立支援員による面接を就労支援に合わせて行うことで、就労意欲の喚起や他機関へのつなぎを行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	18,579	19,663	21,280	22,872	
うち市負担分(千円)	4,927	6,072	5,982	6,414	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
被保護者が就労に至った人数	人	20	42	33	33
年金調査により、未受給年金が発見された人数	人	25	21	7	20

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

- 就労支援事業は、9,612千円の扶助費を削減することができた。
- 未受給年金の発見は、2,512千円の扶助費を削減することができた。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	稼働年齢対象者である受給者への働きかけを積極的に行った上でハローワークとの情報共有・連携を密にし、昨年度より効果額を上昇させることができた。
--------------------	------------------------------------------------------------------------

【事業の課題】

課題・問題点	就労支援事業は、支援が長期化することで本人の就労意欲が低下する場合もあることから、適職へ早期につなげるための工夫が課題である。未受給年金調査については、今後も高齢者の受給が増加することが予想されることから、調査漏れがないよう定期的にチェックしていくことが重要と考える。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	就労支援事業は、保護費の削減に効果があるだけでなく、生活保護受給者が支援を通じ社会との関係を深めるとともに、就労を継続することにより、社会生活に対する自信を持つ効果が期待できる。未受給年金調査に関しても、自身で年金記録を確認が困難な受給者に対し、社労士に委託することで、各種年金受給漏れを防ぐ観点から非常に重要と考える。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	2	健康づくりを支える環境の整備

事業名	医療費適正化事業	担当課名	生活福祉課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
生活保護受給者については、医療費の自己負担がないことから、医療機関が受給者の求めに応じ過剰な医療行為を実施してしまうことや、不適正な診療報酬請求が行われるおそれがある。そのため、医療状況の把握及び診療報酬明細書(レセプト)等の点検を充実することにより、医療扶助の適正化を図る。
(事業概要等)
○生活保護受給世帯に月ごとの医療費通知を送付し、医療機関受診や医療品使用に対する意識を高め、医療費の適正化につなげる。 ○レセプトの資格審査、診療内容点検など、レセプト点検を全てのレセプトについて実施する。また、電子レセプトを活用することにより、受診状況などの医療費分析を行う。 ○ジェネリック薬品の普及や利用促進を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,438	3,740	5,809	3,792	
うち市負担分(千円)	1,283	1,124	2,270	2,945	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
診療報酬明細書点検枚数	枚	40,102	42,127	44,701	44,000
再審査返戻枚数	枚	1,000	533	1,186	1,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
診療報酬明細書の内容・資格点検により、効果額として内容点検で10,533千円、資格点検で6,790千円、計17,323千円の医療扶助費が減額できた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	R3年9月から医療券・調剤券のオンライン請求を開始した。これにより、紙と郵送代の削減だけでなく、即日交付できる迅速な対応が可能になった。また、R5年度中にオンライン資格確認のための環境が整備できた。
--------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業の課題】

課題・問題点	システム関連の対応を求められることも多く、担当レベルでの対応が難しいケースがある。
--------	-------------------------------------------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	医療費の適正化のため、引き続きレセプト点検を充実させる。また、事務効率の向上、医療機関及び受給者の利便性向上のため、医療券・調剤券のオンライン請求について周知を図るとともに、マイナンバーカードの利用促進をめざす。